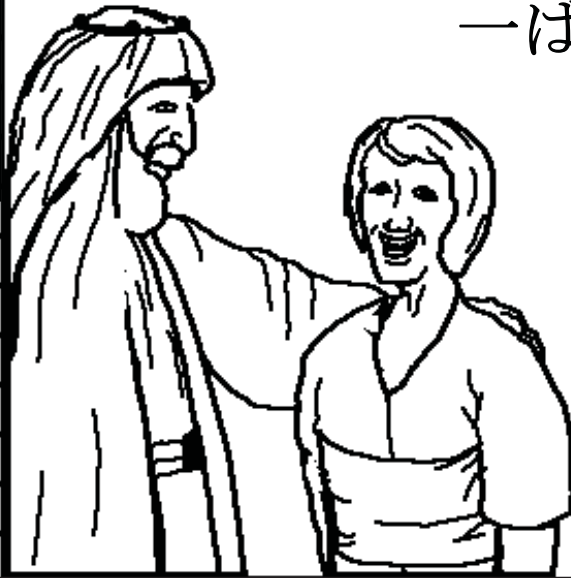


こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします

むすこ
一ばんかわいい息子が、
どれいに



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Byron Unger; Lazarus

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: M. Kerr; Sarah S.

60話の第7話
www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

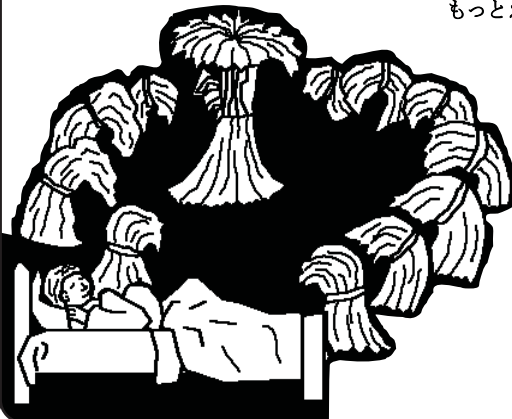
Japanese

イサクは、ほんとうにしあわせでした。なぜって、^{むすこ}息子が^{いえ}家にいるの
ですから。それに、いちどは、^{おとうと}弟^{ころ}ヤコブを殺そうとしたエサウでさえも、
^{おお}大よこびでヤコブを迎えてくれたんですからね。けれども、
^{むすこ}ヤコブの息子たちは、しあわせじゃなかったのです。
それは、^{おとうと}かれらの^{おとう}弟^こヨセフが、お父さんのいちば
んかわいい子だったからです。

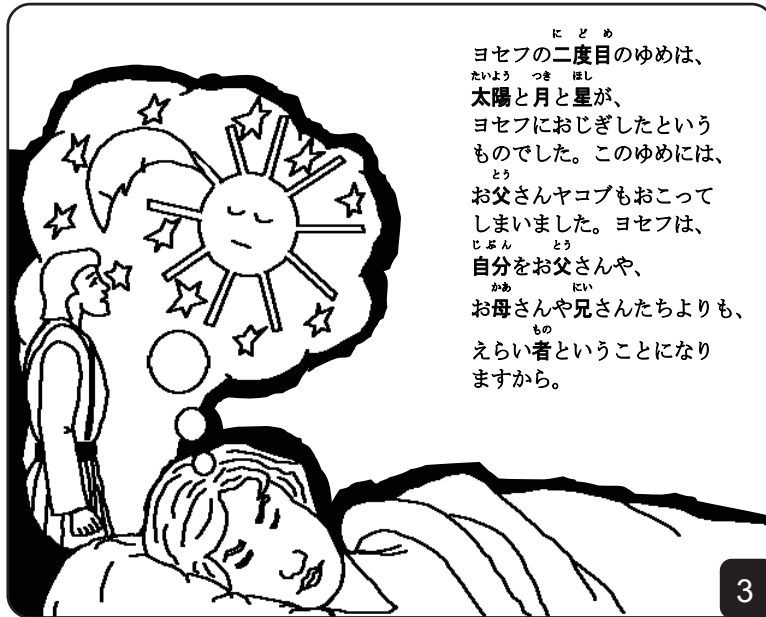


1

ある^{とき}時^{じぶん}ヨセフは、^{はなし}自分のゆめの話をしました。
それを聞いた^{おとうと}兄さんたちは、かんかんにおこりましたよ。そのゆめというのは、
こうでした。「^{わたし}私のこくもつ^{たば}の東は、^{たか}高く立ち、^{にい}兄さんたちの東が、
^{おじぎ}おじぎをしたんだよ。」このゆめは、ヨセフが、^{にい}兄さんたちよりも、
もっとえらくならないことを、
い
言っていました。



2



ヨセフの二度目のゆめは、
太陽と月と星が、
ヨセフにおじぎしたという
ものでした。このゆめには、
お父さんヤコブもおこっ
てしまいました。ヨセフは、
自分をお父さんや、
お母さんや兄さんたちよりも、
えらい者ということになり
ますから。

3



ある日、ヤコブは、ヨセフをとおくにある広い牧草地へ行かせました。そこでは、
兄さんたちが、ヒツジやヤギの群れの番をしていました。兄さんたちは、ヨセフ
がこちらの方へやってくるのが見えましたよ。「おい、みんな見ろよ。ヨセフが
こちらへ向かってくるんじゃないか。あのゆめ見るやつを、やっつけてしま
おう。」「そうだ、そうしよう!」ヨセフは、

あぶないことが待っているなん
て、思いもしませんでした。

4



一ばん上の兄さん、ルベンは反対して言いました。「みんな、それはよくない
よ。決して血をながしてはいけないよ。」そして、「そうだ、見ろよ。ここに穴
がある。この中に、ヨセフを投げ入れてしまおうじゃないか。」と言いました。
ルベンは、夜になったら、そっとわからないようにヨセフを助け出そうと思
いました。

5



いよいよ、ヨセフが、
やってきましたよ。
兄さんたちは、
ヨセフにおそいかかり、
かれのきれいな服をはぎと
ってしまいました。それは、
父ヤコブがかわいい息子ヨセ
フのために、作ったとくべ
つの服でした。それから、
兄さんたちは、
ヨセフをおそろしくふかい
穴の中に投げこんでし
まったのです。

6

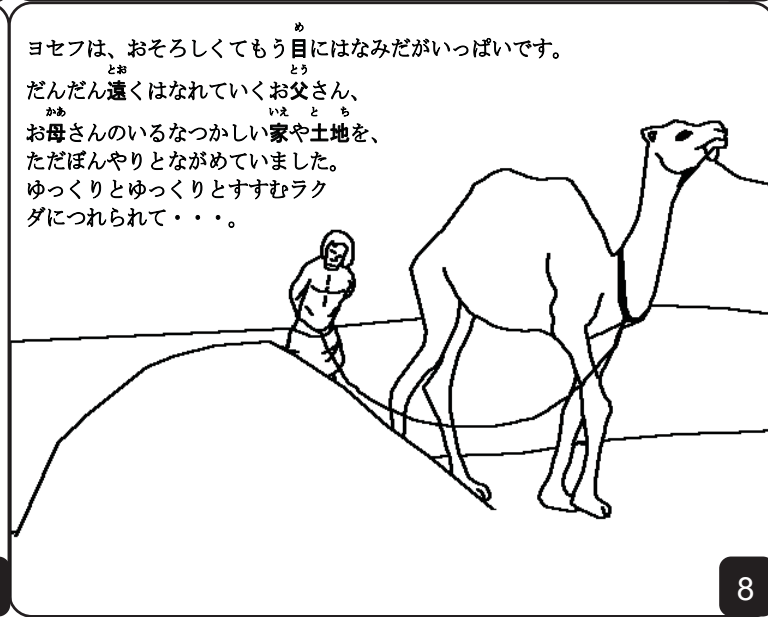


ルベンが、穴のところから、しばらくはなれてい
たときのことです。ラクダをつれたキャラバン
隊が通りかかりました。かれらは、
エジプトへ行くところですよ。「そうだ、
ヨセフをあの人たちに売ってしまおう。」
兄さんの一人、ユダがさげました。



そして、キャラバン隊の
人たちと話し合いました。とうとうヨセフを、
銀貨20まいで、売っ
てしまいました。

7



ヨセフは、おそろしくもう目にはなみだがいっぱいです。
だんだん遠くはなれていくお父さん、
お母さんのいるなつかしい家や土地を、
ただぼんやりとながめていました。
ゆっくりとゆっくりとすすむラク
ダにつれられて・・・。

8



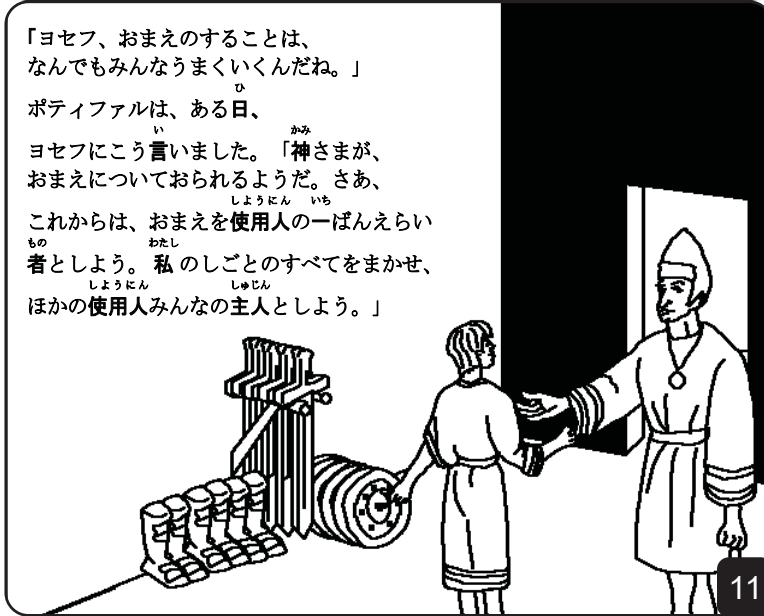
「お父さん、これはヨセフの
上着でしょうか。血がついて
いるのですけれど……。私
たちは、この上着をあら野で
みつけたのです。」ひどい兄
さんたちは、お父さんのヤコ
ブに、かわいい息子ヨセフ
が、けものところされてし
まったと信じさせました。
ヤコブは、あまりのかなしさ
で、服をひきさき泣きつづ
けました。だれもヤコブを
なぐさめることは、
できませんでした。

9



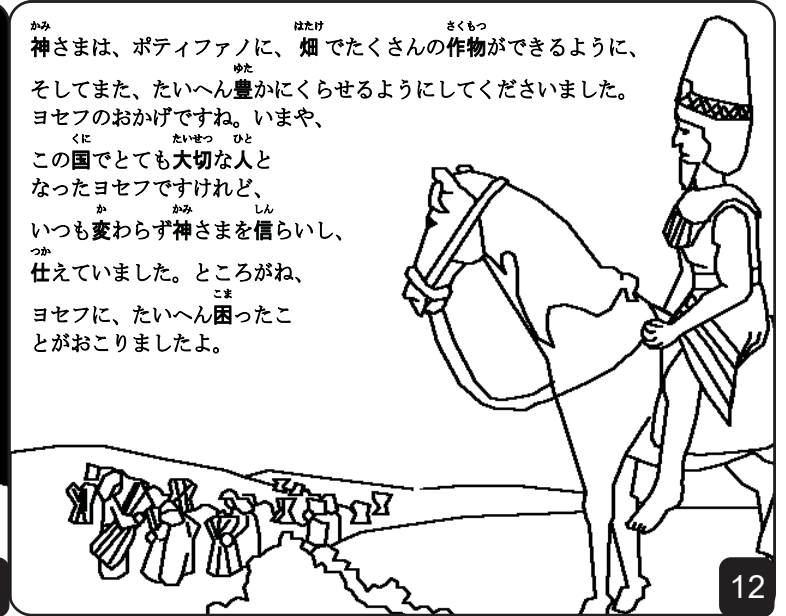
エジプトで、一人ぼっちにな
ってしまったヨセフは、
きつと不安でおそろしかったにち
ががありません。たぶんヨセフ
は、みんなのいる家に、もどりた
かったでしょう。でもかれは、
にげだすことができなかつたので
す。かれは、この国の役人であつ
たエジプト人ポティファルの家で
どれいとなり、はたらきました。
ポティファルは、ヨセフがいつも
いっしょうけんめいはたらいてい
るのを見て、安心してなんでもま
かせられると思いました。

10



「ヨセフ、おまえのすることは、
なんでもみんなうまくいくんだね。」
ポティファルは、ある日、
ヨセフにこう言いました。「神さまが、
おまえについておられるようだ。さあ、
これからは、おまえを用人の一ばんえらい
者として。私のしごとすべてをまかせ、
ほかの用人みんなの主人として。」

11



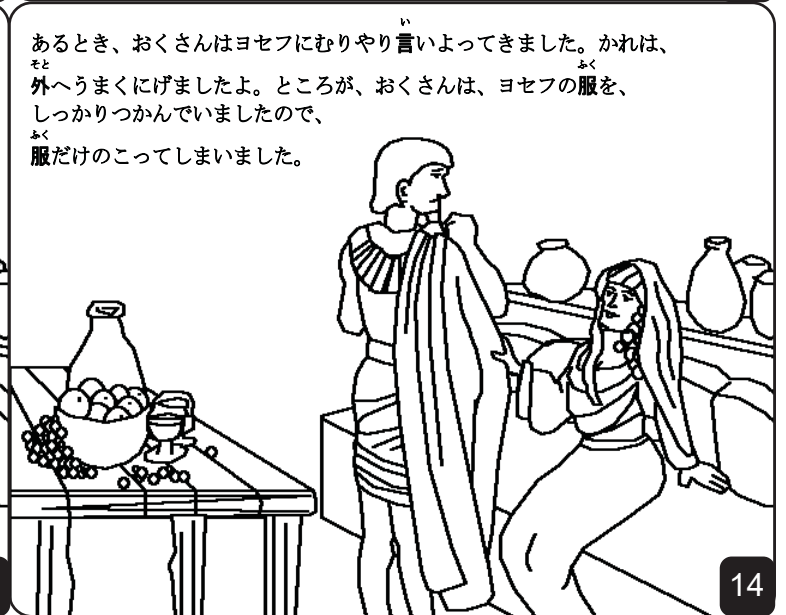
神さまは、ポティファルに、畑でたくさんの作物ができるように、
そしてまた、たいへん豊かにくらせるようにしてくださいました。
ヨセフのおかげですね。いまや、
この国でとても大切な人となつたヨセフですけれど、
いつも変わらず神さまを信じ、
仕えていました。ところがね、
ヨセフに、たいへん困つたことがおこりましたよ。

12



ポティファルのおくさんは、よい人ではありませんでした。かのじよは、
ヨセフに自分の夫ポティファルのかわりをするように言いました。もちろん、
ヨセフはことわりました。ヨセフは、
ポティファルによくないことをして、
神さまに罪をおかすつもり
はありませんでした。

13

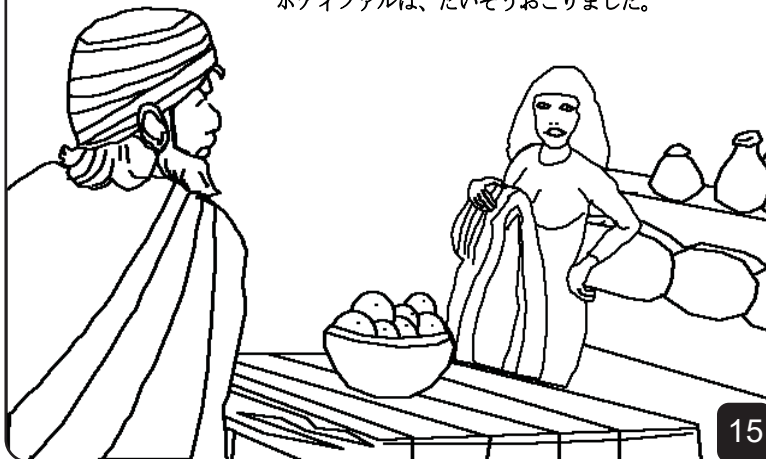


あるとき、おくさんはヨセフにむりやり言いよつてきました。かれは、
外へうまくにげましたよ。ところが、おくさんは、ヨセフの服を、
しっかりつかんでいたので、
服だけのこつてしまいました。

14

「あなたのどれいは、私にいたずらしようとしたのです。」ポティファルのおくさんは、このようにヨセフのことをいきました。「さあ、見てくださいよ。

ここにヨセフの服があるから。」それを見て、ポティファルは、たいそうおこりました。



でも、もしかしたらかれは、自分のおくさんが、うそをついているって知っていたかもしれませんね。けれども、とにかくポティファルは、なにかしなければなりませんでした。いったいかれは、どうするつもりなのでしょうね。



ポティファルは、ヨセフをろうやに放りこんだのでした。ヨセフは、なんの罪もなかったのにどうして？でもかれは、そのことで、つらく思ったりおこったりはしませんでした。



たぶんヨセフは、今までの苦しかつたできごとから、いろいろ学んできたからなのでしょうね。つまりね、たとどこにいたとしても、いつも神さまを第一にしていれば、神さまは、かならずもってくださるだろうって。たとえ、ろうやの中でもね。



一ばんかわいい息子が、どれいに

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 37 章—39 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださいました。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっやすることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！